

電気のお話①

《表紙の取り扱い》

題名「たいせつに、たいせつに」を読んだあと、表紙をぬいて、横にはずしてから、脚本を読み始めてください。

あきちゃん 「あれ？テレビが消えちゃった。」

だあれ、消したのは？

エレくん (歌) 「♪でんきはたいせつ

こまめに スイッチ オフ」

よく見ると、キラキラ光った小さな男の子が飛んでいます。

あきちゃん 「あなた、だあれ？」

エレくん 「ぼくの名前はエレ。」

電気を大切に使用していないおうちを見つけたら、消してあげているんだ。」

あきちゃん 「あなたが消したの？」

エレくん 「そうだよ。だって、だれも見てなかったよ。」

(歌) 「♪でんきはたいせつ

こまめに スイッチ オフ」

エレくんは、歌いながら飛んで行ってしまいました。

あきちゃん 「こまめに スイッチ オフ？」

あきちゃんには、よくわかりませんでした。

また、テレビをつけると、消すのを忘れて、

遊びに出かけていきました。

【ぬく】

演出ノート

作曲 山本 茂之

(歌)

♪ = 112

でんきはたいせつ — こまめに スイッチ オフ



電気のお話②

夜になりました。外は大雨。風が吹き荒れています。

バチッ！

突然、家じゅうの電気が消え、真っ暗になりました。

お母さん

「停電だわ、あきちゃん。」

ろうそくを探してくるわね。」

そう言うと、お母さんはどこかに行ってしまいました。

いくら目をこらしても何も見えません。何も聞こえません。

あきちゃんは、その場にじっとうずくまりました。

あきちゃん

「おかあさあん、どこにいるの？」

しいん

「少し間をあけるー」

【線までぬく】

しばらくすると、ろうそくの灯りが小さく見えました。

お母さんはあきちゃんを優しく抱きしめて言いました。

お母さん

「もうだいじょうぶよ。」

でも、アイスクリームが溶けちゃうわね。」

あきちゃん

「どうして？」

お母さん

「停電で電気が来ないから、冷蔵庫が止まっちゃったのよ。」

あきちゃん

「て、い、で、ん？」

お母さん

「そうよ。テレビも消えちゃったわね。」

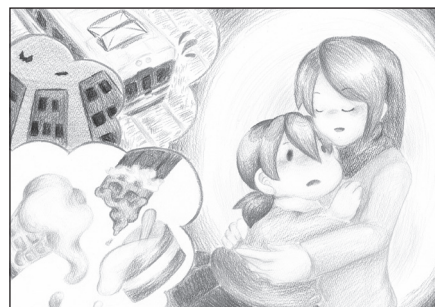
あきちゃんは、どうなっちゃうんだろうと思いました。

【全部ぬく】

演出ノート

電気が突然切れる音

あきちゃんは、停電のことがわからなかった



電気のお話③

「絵を指さしながら」

あきちゃん 「アイスクリームが溶けちゃう。」

まち 町じゆう、電気が消えて真っ暗。

でんしゃ 電車も信号も止まってしまおう。」

「少し間をあける」

あきちゃん 「大変なことがもつともつと起きちゃう。」

あきちゃんは、エレクんの教えてくれたことが、

少しだけわかる気がしました。

お母さん

「電気がなくなると本当に困るわね。大切に使わないとね。」

あきちゃん

「たいせつに、たいせつに。」

「間をあける」

その時です。

【きくとぬく】

演出ノート

こびやくへようびに読む



電気のお話④

でんき
電気がつきました。

あきちゃんあきは、電気でんきの灯あかりを見みつめながら、
お母かあさんにエレくんうたの歌うたを歌うたってあげました。

あきちゃん

(歌) 「♪でんきはたいせつ

こまめに スイッチ オフ」

— おしまい —

演出ノート

元気に歌う